

水機構ニュース



「水機構ニュース」では、水資源機構からの最新ニュースを中心に、水にまつわるさまざまな情報をお届けします。



愛知用土地改良区創立70周年記念式典が開催されました。

愛知県の大地を潤す愛知用水。世紀の大事業である愛知用水事業の推進に努めてこられた愛知用土地改良区が昭和27年の設立より70年を迎えました。これを記念した創立70周年記念式典が令和4年10月19日に愛三文化会館（愛知県大府市）で開催され、来賓としての愛知県知事、各国会議員・県会議員、東海農政局長、水源地の王滝村村長を始め、受益市町の首長を含む約400名が参加されました。

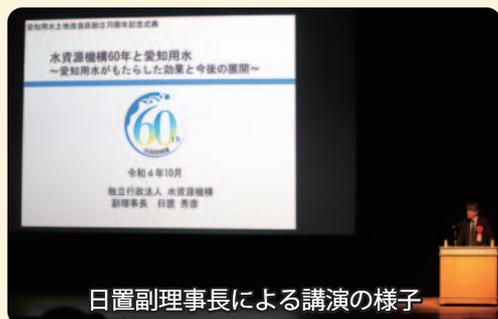
式典では、愛知用土地改良区久野^{くの}理事長の式辞、功労者への感謝状授与の後、来賓の方々による祝辞が述べられました。水資源機構からは日置副理事長により機構60周年も踏まえた祝辞を述べました。

式典の記念講演では、（公財）愛知・豊川用水振興協会の達志保^{つじ} 保研究員より、愛知用水事業推進や農聖と呼ばれた山崎^{のぶよし}延吉に由来する数々のエピソードが紹介されました。続いて、日置副理事長より、愛知用水を含めた機構事業がこの60年間にもたらしてきた効果、愛知用水の事業の変遷と取り組み、次世代に向け、大きな効果を上げている愛知用水を維持していくために取り組まなければならない課題と対応の方向性について講演を行いました。

式典を通して、愛知用水事業を推進してこられた先人の遺業、水源地域への感謝の気持ちを新たにしたいところです。



久野理事長の式辞



日置副理事長による講演の様子



読者モニター見学会 in 南摩ダム

10月22日(土)に栃木県鹿沼市にある思川開発建設所にて、新型コロナウイルスの影響によりしばらく実施できなかった広報誌読者モニター見学会を3年ぶりに開催しました。

建設最盛期を迎えた南摩ダムのダイナミックな工事現場で水資源機構の仕事や直に技術に触れていただいたあと、日頃より広報誌に関して意見をいただいている読者モニターの皆様と当機構の広報に関する



意見交換をさせていただきました。

機構施設は広く知られていても、それを管理する水資源機構の認知度がなかなか上がらないという悩みに対し、参加された読者モニターの皆様からは、「広報誌をもっと多くの人に見てもらおう工夫(設置場所の工夫やWEBを通じた拡散等)」、「若者はテレビよりネット情報が中心なので、SNSを通じたインパクトのある発信



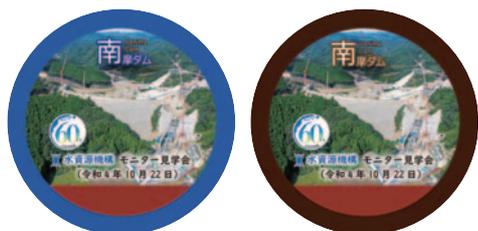
の強化」、「他組織の発信媒体(メルマガ等)で機構の技術や活躍を取り上げてもらえるような積極的な働きかけ」などの直接的な取り組みのご提案に加えて、「機構で実施するイベントを地域観光と連携した複合的目的とする仕掛け」や、「上下流交流で水の恩恵を下流域に伝える機会の拡充」など、大変有り難い率直なご意見をたくさん頂戴することができました。

今回の見学会に際し、ご参加いただきました読者モニターの皆様、並びに参加できなかった読者モニターの皆様にも事前のアンケートも含め、ご協力いただき、ありがとうございます。また、読者モニターの皆様には平素より広報誌へのアンケートにご協力いただきありがとうございますことに、重ねて感謝申し上げます。これからも、水資源機構の行っている業務や果

たしている役割を国民の皆様に分かりやすくお伝えすることができるよう、皆様からのご意見を参考にさせていただきながら広報誌の更なる充実を図ってまいります。



読者モニター見学会限定缶バッチ



ご参加いただいた読者モニターの皆様に限定缶バッチを配布しました。